

# 映画「約束」上映と講演会

# 約束

名張毒ぶどう酒事件 死刑囚の生涯

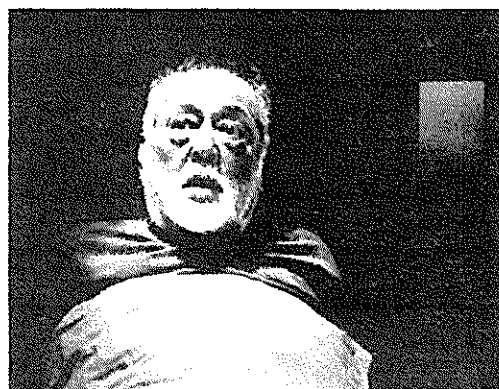
半世紀もの間、実実を訴え続けている死刑囚がいる…  
奥西勝さん、89歳。

2015年5月16日(土)

明石市生涯学習センター学習室1

(アスパア明石北館7F)

JR・山陽 明石駅より南東へ徒歩3分



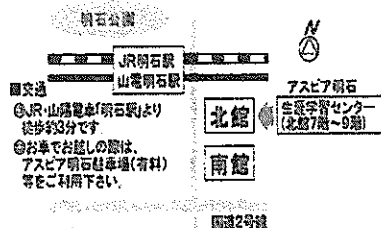
©東海テレビ放送

出演：仲代達矢 樹木希林 他

監督・脚本：齊藤潤一 2012年 120分

①10:20～ ☆講演 13:00～14:00 ②14:10～

参加費 500円 (申し込み不要・先着順)



☆講演 (映画と併せてお聞きいただけます)

「名張毒ぶどう酒事件

奥西勝さんの社会復帰について」

脇田吉隆氏 神戸学院大学総合リハビリテーション学部准教授。憲法学・法学教育方法論、えん罪犠牲者の社会復帰と権利実現が主な研究テーマ。1990年以来、奥西さんを支援。2005年より名張毒ぶどう酒事件兵庫支援する会会長。「えん罪事件犠牲者」を「究極の社会リハビリテーションの対象者」として位置づけ、その「身柄の釈放」と「社会復帰」について、実践的な課題と解決方法を提言する。

主催：(公益社団法人)アムネスティ・インターナショナル日本・西神戸グループ

[問] 078-911-6805 緒方 090-9879-6160 平石

後援：明石市、明石市教育委員会、神戸学院大学

神戸新聞社、毎日新聞神戸支局、読売新聞神戸総局、朝日新聞神戸総局

## 名張毒ぶどう酒事件とは

1961年、三重県名張市の小さな村の懇親会で、ぶどう酒を飲んだ女性5人が死亡した。嫌疑をかけられた奥西勝さん（当時35歳）は、一度は自白するが、逮捕後は一貫して無実を主張。1964年の一審では、唯一の物証とされたぶどう酒びん王冠の歯形は奥西さんのものとは断定できず、また自白は信用できないとして無罪。しかし、1969年の高裁では一転して死刑判決。1972年に最高裁で死刑が確定した。

その後、第五次再審請求中に、死刑判決の最大の根拠となった王冠の歯形鑑定が、鑑定写真の倍率を操作した虚偽鑑定であったことが判明している。

2005年によりやく出た再審開始決定は、翌年取り消された。そして、2015年1月9日、名古屋高裁は、第八次再審請求の異議申し立てを棄却した。2012年に肺炎を患い体調が悪化し、八王子医療刑務所へ移送された奥西さん。死刑囚として投獄されて半世紀近く…1月14日、89歳の誕生日を病床で迎えた。

アムネスティは、取り調べの過程で虚偽の自白を強要されたことから、再審の必要性があることは明らかであり、現在の奥西さんの体調を考えると、一刻も早く再審を受ける機会が保障されるよう強く求めている。また、アムネスティは死刑廃止の第一歩として、奥西さんを含めたすべての死刑囚について、公式に死刑の執行停止措置をとるよう要請した。今後もアムネスティは、世界的な規模で奥西さんの支援を続ける。

★「袴田巖さんと奥西勝さんにメッセージを送ろう」キャンペーン中。3月5日、他団体と共に、八王子医療刑務所に対し、処遇の改善を要請。5月、再審請求に向けての署名活動開始。フランスのグループが支援活動を続けている。

アムネスティ・インターナショナルは、1961年に発足した世界最大の国際人権NGOです。世界の150の国と地域で300万人以上の人が参加しています。1977年、ノーベル平和賞受賞。アムネスティ日本は、アムネスティ・インターナショナルの日本支部として1970年に設立。2011年、公益社団法人に認定されました。会員約7000名。

## 一人の力が、世界を変える

公益社団法人 アムネスティ・インターナショナル日本  
<http://www.amnesty.or.jp>



### \*\*\*\*\* アムネスティ日本第92（西神戸）グループ \*\*\*\*\*

1989年結成。20代から80代の会員12名と賛助会員で活動しています。原則第4日曜の午前に、神戸・垂水 or 明石で例会を開き、「人権侵害No!」の手紙を書いています。講演会やコンサートの企画、イベントへの出店も。お問い合わせは、078-911-6905 緒方まで。

ブログ「アムネスティ西神戸グループ活動日記」  
<http://wind.ap.teacup.com/amnestynishikobe/>